

ふりゆう 風立



ホームページ・ブログ更新中

感動が自然に生まれるとき～共有できる連帯感～



校長 上村 勉

一瞬の沈黙のあと、「宣誓！」という言葉が高く伸びて、大空へ広がっていく。2人の応援団長の凍とした表情、真っ直ぐに伸びた腕。そして、会場中の全員へこれからの行動を明言する。はっきりと、淀みなく宣言する。なんて格好いい、そして、なんて素敵なのだろうか…。一番近くでそれを聞きながら、「きっと体育大会は成功する。」と思った。そう、確信した瞬間でした。台風13号が接近し、開催が危ぶまれましたが、「一瞬の青春 最高の仲間と共に全力で輝け！」のテーマのもと、第21回体育大会は無事開催されました。選手宣誓だけではなく、これまで保体班や応援団員、担任の先生などからも、いろいろな場面で小さなメッセージが放たれてきました。そうして、体育大会当日までみんなが言葉をつなげていくことで、ノリや勢いではなく、真剣に取り組むことの大切さが共有されていったのだと思います。

正しく勝ちにこだわって、最後まで諦めずに頑張れたみなさん。精一杯の声を出しながら、本気で全力で応援合戦を楽しんだみなさん。そんなみなさんを私は誇りに思います。そして、それをしっかり支えて、最後まで観戦・応援してくれた保護者や地域の方々を誇りに思うのです。

体育大会では競技者だけが注目されがちですが、私は係の人の一挙一動にも注目しています。予行の経験を生かし、テキパキと自分の役割をこなす人もいれば、暑さと体調不良から来る体力・気力の消耗により、思うような行動ができない人もいました。そんな時「大丈夫だよ。手伝うよ。」というステキな言葉かけが耳に入ってきて、心に涼風が吹くと同時に、夏休みのあるシーンが脳裏に蘇りました。

ある日、鹿児島中央駅付近の駐輪場を歩いていました。ある女性が自分の自転車を動かそうとして隣の自転車に触れたのか、ドミノ倒しのように次々と十数台倒れていきました。荷物を持った女性の困惑した表情と悲鳴のようなため息が耳に入り、私は倒れた自転車を1台ずつ立てました。すると、一人また一人と手伝う人が増えていきました。元通りになった自転車の列と女性のお礼の声が合図となって、私たちは解散しました。そこにいた誰もが、ほんの少しだけ良い気分になった瞬間でした。

そんなことがあった数日後に、あるコラムで「人助け指数」と呼ばれる国際調査があることを知りました。なんとなく「日本は上位だろう」と思いながら読んでみて驚きました。2023年は142か国中で139位、2022年は119か国中で118位という結果で、G7先進国の中で最下位でした。この調査は、①『この1か月の間に（助けを必要としている）見知らぬ人を助けたか』、②『この1か月の間に寄付をしたか』、③『この1か月の間にボランティアをしたか』という3つの質問について、国ごとの回答を集計したものです。日本は①が最下位で、その他も低い結果となっています。①の低さが意外であると同時にとても残念な気持ちになりました。「何でみんな困っている人を助けないの?」と思い、日常的に「人助け」ってどんなことがあるのか考えてみると、電車やバスで席を譲るとか、落とし物に気付いて拾って渡すとかぐらいしか思いつかなかったのです。もしかしたら、日本は他国よりも助けが必要な「見知らぬ人」と出会うことが少ないのかも知れません。

もっとも、2022年の同調査の報告書の中では、日本の人助け指数が低いことについて、次のような理由が記されていました。『日本のスコアが非常に低い理由は、本質的に文化的なものである可能性が高い。アメリカでは「慈善行為」として認識されていることが、日本では「責任」として理解されている可能性が高い』と。つまり、日本の人々は、人助けを慈善行為というよりも責任から行う「当然の行為」として捉えているため、人助けをしたというようには認識しておらず、そのことが低スコアとなって表れているということなのでしょう。

さて、体育大会という2学期の大きな行事が一つ終了しました。クラスや学年で取り組む文化的行事や体育的行事が続きます。一方で、学習内容も難しくなり、理解・定着するのに時間がかかってしまうかも知れません。2学期は「ヘトヘト」になるまで取り組めるクラスの団結力や実行力、諦めない力が問われます。もう一つ加えると、クラスには、不器用な人や体力のない人、学習が苦手な人がいます。2学期は、数多くの「困っている身近な人」や「助けが必要な仲間」に出会うことになるはずですが。そして、その時にあなたが「人助け」をできるのかどうか。あなたのクラスの「人助け指数」が問われることになるのではないのでしょうか。私は、そんなふうを考えるようになりました。

目標を共有し、同じ時間と空間で「ヘトヘト」を共有しながら、仲間の「困り感」まで共有できるクラス・学年・学校って、充実感も共有できるけど、連帯感も共有できて、何よりもみんなが良い気分になるよなあ…と思う今日この頃です。



中種子中
第21回
体育大会
ちよこつと
フォト
ギャラリー

【大会スローガン】
一瞬の青春
最高の仲間とともに
全力で輝け!



台風の影響を心配しましたが、素晴らしい秋空の下、思い出に残る体育大会が実施できました。愛校作業、テント設営等の準備、生徒たちへの応援などありがとうございました。

ストマネ・リカバリータイム

月1回ペースで取り組んでいる「ストレスマネジメント」に加えて、9月には、「リカバリータイム」を行いました。夏の暑さと体育大会の練習対策として、生徒の負担軽減のために行われています。15分間の仮眠・休憩時間です。



1年 交流学习

9月27日に、中種子特別支援学校中学部の皆さんと交流学习がありました。お互いの学校紹介をした後に、「ボッチャ」と「卓球バレー」をして、楽しい時間を過ごしました。



2年 平和学習

中種子町内にある戦跡をめぐり、戦争の悲惨さや平和の尊さを学ぶ時間です。9月20日に町社会教育課の方々が作成された資料を見ながら、また、各所で解説を聞きながら、多くのことを知ることができました。

2年生は、修学旅行でも長崎で平和について学んでおり、さらに身近な郷土の歴史にも触れる機会になりました。



10月の主な行事予定

- 3日(金) 地区駅伝
- 12日(土) 土曜授業・生徒会役員改選
- 14日(月) 祝)スポーツの日
- 15日(火) 選挙結果発表・後期役員承認
- 16日(水) 地区新人大会

- 16日(水), 17日(木) 3年 実力テスト
- 29日(火) 家庭教育学級
- 31日(木) 風立祭準備
- 11月1日(金) 第21回風立祭